

インフルエンザ注意報の発令について

令和5年2月9日（木） 15時00分

北海道帯広保健所
(北海道十勝総合振興局保健環境部保健行政室)
電 話：0155-26-9071

北海道では感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき感染症発生動向調査を実施しておりますが、令和5年第5週（令和5年1月30日～令和5年2月5日）において、帯広保健所管内の定点医療機関あたりの患者報告数が、注意報基準以上となりましたので、インフルエンザ注意報を発令します。

記

1 定点医療機関あたりの患者報告数（第5週速報値）

区分	帯 広	全 道※	全国※
定点あたり患者数	14.75 人	11.32 人	集計中

2 対 応

北海道では、ホームページや各保健所などを通じて、外出後の手洗いや適度な湿度の保持、マスクの着用や咳エチケットの励行によるインフルエンザの感染予防を呼びかけています。

また、感染予防や重症化を防止するため、インフルエンザワクチンの接種も効果があるとされていますので、接種の検討についても呼びかけています。

なお、全道のインフルエンザ流行状況は、北海道感染症情報センターのホームページでご覧になれます。

3 参 考

（1）最近5週間における定点医療機関からの患者報告状況

（表示は「定点医療機関からの患者報告数（定点医療機関あたりの患者報告数）」単位：人）

	第1週 (1/2～1/8)	第2週 (1/9～1/15)	第3週 (1/16～1/22)	第4週 (1/23～1/29)	第5週 (1/30～2/5)
帯広保健所	43 (3.58)	106 (8.83)	173 (14.42)	116 (9.67)	177 (14.75)※
全 道	1,299 (5.72)	1,729 (7.55)	1,869 (8.20)	2,018 (8.89)	2,592 (11.32)
全 国	23,523 (4.77)	36,575 (7.39)	47,366 (9.59)	51,219 (10.36)	- (-)

※第5週の患者報告数は速報値。

（2）インフルエンザの注意報・警報とは

【発令基準】

注意報：1 定点医療機関あたりの受診患者数が一週間で10人以上となった場合

警 報：1 定点医療機関あたりの受診患者数が一週間で30人以上となった場合

※警報発令後は1 定点医療機関あたりの受診患者数が10人以上であれば警報を継続

- ・厚生労働省の感染症発生動向調査により、帯広保健所管内のインフルエンザ定点医療機関を受診したインフルエンザ患者数が、注意報・警報の発令基準値に達した場合に発令します。
- ・注意報は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示しており、流行発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性があることを示しています。
- ・警報は、大きな流行の発生や継続が疑われることを示しています。

コロナとインフルエンザが同時に流行すると、 さらに医療がひっ迫する可能性があります

今冬を安心して過ごすためには、ご自身の対策が重要



・コロナにもインフルエンザにも感染対策の徹底が重要です

手洗い・換気・マスク着用、また、体調不良時は外出・出勤・登校・登園を控えましょう

・新型コロナワクチンの早期接種のご検討をお願いします

オミクロン株対応ワクチンは、1回目、2回目接種を終えた12歳以上の方を対象にひとり1回接種を行います(オミクロン株に対応したワクチンは、従来型を上回る効果が期待されます。)

・65歳以上の方などの定期接種対象の方は、インフルエンザワクチンの接種もご検討ください

新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンは同時接種が可能です

発熱などに備えた準備

・新型コロナ抗原定性検査キットをご準備ください(医療用・一般用)

・解熱鎮痛剤、生活必需品、食料品(5～7日分)をご準備ください



発熱などの症状が出たら・・・

65歳未満の症状の軽い方で、自己検査により

陽性反応が出た場合の判定は、**陽性者登録センター**をご利用ください

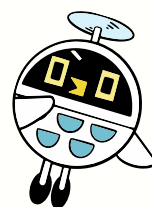
抗原定性検査キットは、ご自身で薬局などでご購入いただくか、北海道陽性者登録センターにWebでお申し込みください。



後志、胆振、日高、
渡島、檜山地域の方

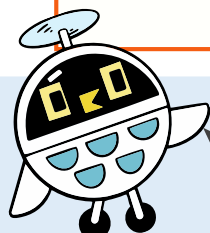


その他の地域の方



65才以上の方や基礎疾患のある方、妊娠している方、その他受診を希望される方などは、**かかりつけ医**又は**北海道健康相談センター**にご相談ください

電話 0120-501-507 (24時間対応)



ホッホが
答えるホ!

コロナに関するご質問は
北海道コロナチャットボットへ

